

# GTファイナルクリーン

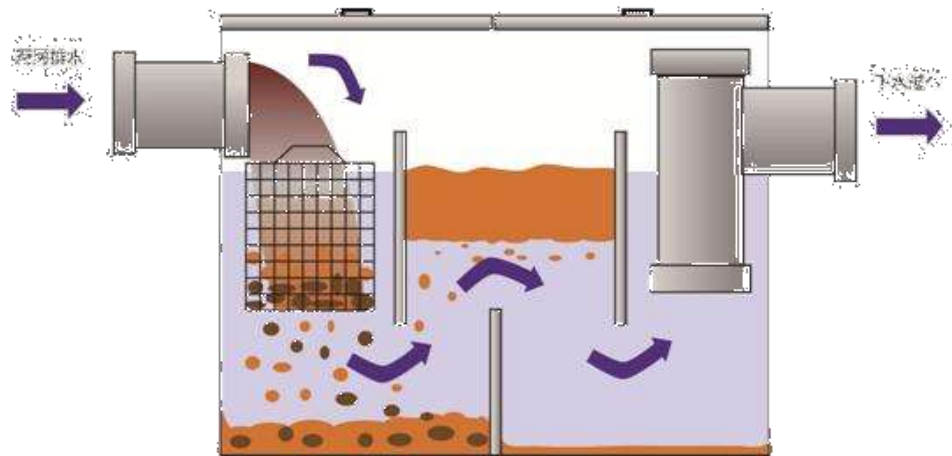
非劇物・合成界面活性剤不使用  
グリストラップ専用生分解性強カクリーナー



株式会社エムアイオージャパン

# グリストラップとは

- 建築基準法によりグリストラップの設置が義務付け
- 厨房の排水に含まれる油脂を分離
- 詰まりや悪臭防止のため、定期的なメンテナンス(清掃)が必要
  - バスケット交換
  - 油脂、汚泥回収



# グリストラップの問題点

悪臭、害虫の発生

排水管の詰まり

排水基準への対応

# グリストラップは不衛生

詰まり

害虫



悪臭

環境  
負荷

## 実際にあったトラブルの例

- グリストラップから汚水があふれ出し営業停止
- 悪臭が発生し、周辺住民から苦情
- 行政の立ち入り検査があり、改善指導
- グリーストラップから害虫が発生、食品に混入

# 従来の洗淨

苛性ソーダや強アルカリ洗剤などを使用

⇒人、環境、排水系統へのリスク

法令により、グリストラップから下水道への排水の基準は  
PH9.0未満である。

# GTファイナルクリーンのコンセプト

- 石けんの中でも強い洗浄作用のあるオレイン酸石けん(オレイン酸カリウム)がベース
- 即効性のある油脂分解力と低泡性を実現
- バキューム回数を軽減、清掃費用のコスト削減
- 非劇物、弱アルカリ性で排水基準をクリア

# GTファイナルクリーンの特長

## 人と環境にやさしい

- 合成界面活性剤不使用
- 非劇物、弱アルカリ性

## 高い油脂分解力

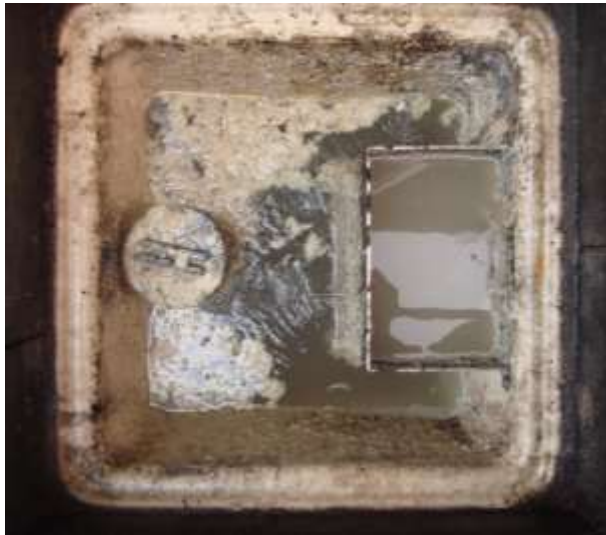
- 槽内の油脂を強力分解

## コスト削減

- バキュームの回数を削減



# GTファイナルクリーン使用例



処理前

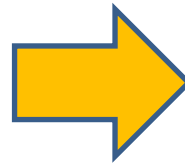


処理後

# GTファイナルクリーン使用例



**処理前**



**処理後**

# 使用方法

- ① グリストラップの生ゴミ、スカム、油脂を出来るだけ回収
- ② グリストラップ全体に本品をまき、よく攪拌する。水が少ない場合は、水を追加投入
- ③ 投入後10分程度して底部の水が白くなってきたらグリストラップ内の壁や仕切板などデッキブラシ等で掃除
- ④ ホース等を使用し、グリストラップ内を水洗い



# 目安投入量

- **大型グリストラップ(容量200L)**  
1回の投入量: 1~2kg
- **中型グリストラップ(容量100L)**  
1回の投入量: 500g~1kg
- **小型グリストラップ(容量50L)**  
1回の投入量: 250g~500g

☆ 本品の投入量は、グリストラップの容量の0.5~1%を目安にしてください。

# 商品仕様

## 内容成分

- オレイン酸カリウム
- エタノール
- ブチルカルビトール
- 亜硫酸ナトリウム
- クエン酸 他

## 容量／入り数

- 4L×4本



GTファイナルクリーン 4L

## ご注意

- ◎ 本品はグリストラップを洗浄するクリーナーです。グリストラップに油脂が多く蓄積している場合は、ある程度回収した後にご使用ください。
- ◎ 水が少ない場合は、水を通常水位まで満たした後、本品を投入して下さい。
- ◎ グリストラップ内のゴミ、油脂、汚泥は各自治体の決まりに従って廃棄して下さい。
- ◎ 劇物指定商品ではありませんが、食品等にかからないようにご注意下さい。